

一六・ 福富忠也親類書

解説

明治四十年（一九〇七）四月、福富忠由の次男忠也が、兄の忠恕家から分家するに当たって作成した親類書であり、一〇号文書「福富忠恵親類書」の後を継ぐもの。ちなみに「福富家文書」を皇學館大学にご寄贈下さった太田喜代子氏の義兄福富文夫氏は、この忠也の次男に当たる。なお忠也の履歴については一八号文書を参照のこと。